

# 四季の歌

俳句・短歌教室の詠歌紹介

胸塞ぐ想いの消えぬ春の宵くろく指そめ露の皮むく  
東北の淡墨桜咲きたるや水の澄むまで筆洗ひつつ  
子の結婚孫の誕生と思ひ出の多き五月よ牡丹咲きいづ  
空高くトンドビ鳴きつつ輪を飛ばせカラスとはとの影さえもなし  
リュック背の孫は見送りて立つわれに新幹線の窓より手を振る  
庭に立つ弘法大師に手を合わす深き謂れの学びたく思ふ  
食べごろのしいたけ一本かたつむりに先をこされてくやしき夕暮れ  
むらさきに滝の流るごとく咲く藤の花房今朝も伸びたり

はな・露の露句会

池田一步選

麦は穂に法螺の聞こゆる求菩提山  
そよぐ風だらりの帯の藤の花  
渺々の鄙に一字の鯉のぼり  
春風を道連れにして旅路かな  
藤房の長さに触れて楽しみぬ  
初夏や練習試合賑やかに  
枝々の隙のかがやき風五月  
老鶯の声艶のありひびきあり  
連休の疲れを見せて鯉幟  
狛犬もくしゃみしさうな春の塵

香月 眸  
高津 澄子  
熊谷カツミ  
本島真知子  
桑野 園女  
井上タミ子  
永末 公恵  
日高八重子  
松本 三男  
山本ひろし

福智町金田公民館俳句教室

岩井鬼童選

濁声は花粉症かも山鴉  
雨粒は真珠光に木々芽吹く  
天目指し生きる力や豆の花  
仁義なき鴉のけんか山笑ふ  
仏めく白杵の里の落椿  
故郷の歌口ずさみ春惜しむ  
すくと伸び待つ楽しさに名草の芽  
園児らの大好きな歌チューリップ  
入学の児に大き目の机買ふ  
余生とは何もて計る春の果

松岡 蒿枝  
建部三由紀  
西田 真美  
仲谷ひろえ  
小川 雪  
長副美恵子  
迫田 昌子  
今井三千代  
山本 空木  
日比生利子

方城句会

池田一步選

矢車のからから廻る闇の中  
師と訪ふもあと幾度か花の園  
紫のまばらこそよし花紫蘭  
芍薬の風に傾く重さあり  
ふらここに大人ものれる子供の日  
絶え間無く風と押し合ふ花空木  
新樹光手を振り足あげウオーキング  
葉桜の影に一息風清し  
手間暇を楽しむように更衣

木村 誠一  
倉石嘉代子  
白石 凡子  
杉 フジエ  
長尾 冴子  
藤井耿之介  
渡邊 一枝  
朝部さよ子  
尾崎 和子

## 福智の風

▶ひざが笑い、日ごろの運動不足を痛感した登山。これまで、何度か福智山に登ったことはありますが、今回ほど周囲に気を配りながら登山したことはありません。きつかったですが、動植物や観光スポットに着目した登山は始めてだったので、改めてその魅力を実感しました。みなさんもぜひ登山ガイドを持参して登山してください。(久原)

▶広報担当となり、はや2ヶ月。カメラを片手に取材に行くと、知らなかったことが多く、恥ずかしながら改めて故郷を知る毎日です。福智町の良さ・素晴らしさをどうしたらうまく伝えられるか、先輩や前任者から学びながら、パソコンと悪戦苦闘。頭から煙を出しながら記事を書いていますので、みなさんお手柔らかにお願いします。(相原)



1 金田小の創作炭坑節。2 芳龍会による舞踊。3 福智のご当地グルメ、「方城すいとん」を求めて長蛇の行列。4 方城和太鼓クラブの演奏。5 選手と交流を深める子どもたち。6 選手もチャレンジした餅つき。7 ミキーズファンクの華麗なパフォーマンス。8 金田中吹奏楽部の演奏に聴き入る参加者。9 ラストは出口の両脇にアーチを作り、別れを惜しむ。

## Pickup Topics

### ●飯塚国際車いすテニス大会国際交歓会

主催／飯塚国際車いすテニス大会福智町実行委員会

# 福智で紡ぐ心の輪

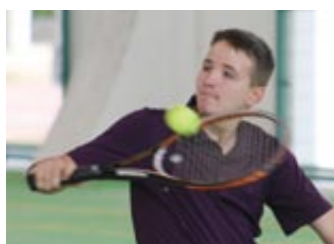
世界四大車いすテニス大会のひとつ「飯塚国際車いすテニス大会」。5月14日から4日間、福智町でBクラスとCクラスの熱戦が展開され、18日の国際交歓会では、盛大に選手やスタッフを迎え入れ、心と心を通わせました。



飯塚国際車いすテニス大会の出場選手やスタッフと交流を深める「国際交歓会」。大会の恒例行事となった「大イベント」が、今年も福智町を舞台に盛大に開催されました。

5月18日の夜、金田体育館には、およそ千人の住民が集まり、選手たちを歓迎。ステージでは、金田中吹奏楽部23人が「外国の方のために、日本の名曲を披露します」とあいさつした後、「故郷」などを演奏。また、金田小26人による創作炭坑節やミキーズファンクのダンス、方城和太鼓クラブの演奏、金田稲荷神社一区獅子保存会の獅子舞、文化連盟・芳龍会による舞踊が披露され、選手たちに歓迎の意を表しました。

会場では、選手たちが出演者と写真撮ったり、食事に舌鼓を打ちながら交流を深め、子どもたちが選手に近づき、英語で話しかける姿も多く見られました。旧金田町とカナダの選手の間をきっかけに始まったこの交歓会も、今年で21回目。最後は、別れを惜しみながら長蛇のアーチで選手を見送り、来年の再会を約束していました。



2回バウンドしてからでも返球できるのが車いすテニスのルール。「飯塚国際車いすテニス大会」が5月14日に開幕し、19か国1地域から151人が参加。福智町では、4日間、BクラスとCクラスの選手が卓越した技術を披露し、白熱の攻防を展開しました。